# 実行団体の公募結果報告

**事業名:　市民社会強化活動支援事業（Pecs）**　　**提出日:　2020年６月２日**

**分配団体名:　認定NPO法人まちぽっと**

**Ⅰ. 公募～選定の結果**

| 項目 | 事業数 | 団体数 |
|---|---|---|
| 選定予定件数（※） | 10事業 | 10団体 |
| 申請件数 | 27事業 | 27団体 |
| 選定件数 | 10事業 | 10団体 |

※公募枠数の事業数と団体数は、基本的に同じ数値を入力

**Ⅱ.公募プロセス**

| 分類 | 項目 | 記入欄 | | |
|---|---|---|---|---|
| 説明会・個別相談会 | 説明会への参加団体数（半角数字） | 18団体 | | |
| | 説明会の実施回数（半角数字） | 3回 | | |
| | 個別相談会の実施回数（選択式）※電話での相談も含む | 1～10 | | |
| | 説明会の告知媒体の種類<br>（利用した媒体は「✓」を選択。複数選択可） | HP | ✓ | |
| | | SNS | ✓ | |
| | | メール | ✓ | |
| | | チラシ | ✓ | |
| | | 関連組織を通じた広報 | ✓ | |
| | | プレスリリース | - | |
| | | その他（入力） | - | |
| | 説明会の告知期間（日数。半角数字）※告知開始～説明会終了 | 20日間 | | |
| | 評価に関する説明の実施の有無（選択式） | 有 | | |
| | 評価に関する説明の主な実施者（選択式） | 資金分配団体のプログラム・オフィサー | | |
| | | （「その他」を選んだ場合は入力⇒） | | |
| | 工夫したこと、良かったこと（500字以内） | 説明会は、12月20日に午前１回、午後に２回、合計３回実施。参加できなかった団体からは、電話等での問合せを受けた。 | | |
| | 課題（500字以内） | 遠方の団体は参加が難しかったことから、オンラインでの説明会も実施できると良かったと思われる。 | | |
| 募集 | 募集の告知期間（日数。半角数字）※告知開始～募集受付開始 | 20日間 | | |
| | 募集の受付期間（日数。半角数字） | 32日間 | | |
| | 募集の告知媒体の種類<br>（利用した媒体は「✓」を選択。複数選択可） | HP | ✓ | |
| | | SNS | ✓ | |
| | | メール | ✓ | |
| | | チラシ | ✓ | |
| | | 関連組織を通じた広報 | ✓ | |
| | | プレスリリース | - | |
| | | その他（入力） | - | （「その他」を選んだ場合は入力⇒） |
| | 工夫したこと、良かったこと（500字以内） | これまでも「草の根市民基金ぐらん」「ソーシャルジャスティス基金」といった助成事業をやってきており、そこで培ってきた広報媒体を利用することができた。 | | |
| | 課題（500字以内） | 公募期間が短く、また年末年始をはさみ、応募する団体も準備が大変だった模様。 | | |
| 審査 | 審査委員について（半角数字） | 審査委員人数 | 6名 | |
| | | うち、外部の専門家委員 | 6名 | |
| | | うち、内部の委員 | 0 | |
| | | その他（入力） | | （「その他」を選んだ場合は入力⇒） |
| | 工夫したこと、良かったこと（500字以内） | 審査委員は、大学教授、弁護士、会計士等の職業でありながらも、長年にわたって市民活動に自ら参加・関与してきた方々であり、NPO等の団体の事情を熟知していたこと。 | | |
| | 課題（500字以内） | 審査の段階では、審査委員は応募団体のガバナンスや事務の能力までは知ることが難しかったと思われる。休眠預金が実行団体に求める能力の水準の高さについて、審査委員および資金分配団体も知っておくべきであったと思う。 | | |
| その他 | 公募に関して上記以外で良かったこと、課題、JANPIAへの要望等自由に記載してください。（任意。800字以内） | スケジュールに余裕がなく、公募開始から締め切りまでの期間が短く、活動を広め公募を充実させるためには一定程度時間的な余裕が必要である。 | | |

**Ⅲ. ガバナンス・コンプライアンスの状況**

| 分類 | 項目 | 実施内容 |
|---|---|---|
| 実行団体の公募 | 実行団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認をどのように行いましたか。（200字以内） | 応募書類が揃っているか。過去3年間の活動報告書、活動計算書等が揃っているか。また、その内容。また、必要に応じて各団体のWebサイトなどを閲覧し確認した。 |
| | 実行団体の公募における申請団体との面談（必要に応じて現地調査）はどのように実施しましたか。（200字以内） | JANPIAとも相談し、個別面談は審査前には行わなかった。 |
| | 審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見をどのように取り入れましたか。（200字以内） | 選考審査委員による活発な議論が行われた。書類選考審査に3時間程度×2回、選考審査会（プレゼンテーション含む）を4時間程度行う中で選考審査委員の専門性、経験などをもとに議論を行った。 |
| | 審査を行う者の利益相反の防止措置はどのように行いましたか。（200字以内） | 選考審査委員が役員を務める団体、また会員となっている団体について、あらかじめリストを提出していただいた。その結果、応募団体との利益相反関係はないことがわかった。また、選考審査会規則を作成し、利益相反防止のための規定を設け実施した。 |

**Ⅳ公募の設計について**

| 分類 | 項目 | 実施内容 | |
|---|---|---|---|
| 申請団体数について | 実行団体選定予定件数に対して申請団体数は想定通りでしたか。（選択式） | 想定より多かった | |
| | （上記の設問について）公募に対する申請団体数が想定通りでなかった場合は、その要因は何だと思われますか。（500字以内） | 募集の告知を全国で広く行ったこと。また、事業内容について分野を特定しなかったこと。 | |
| 実行団体の事業内容について | 設定した社会課題の解決に対して、選定した実行団体の事業内容（目標、対象者、地域、活動、金額、規模等）は想定通りでしたか。（選択式） | 想定通り（または想定以上）だった | |
| | （上記の設問について）想定通り（または想定以上）だった場合、何を工夫したことで想定通りの事業申請があったと思われますか。また、想定を下回っていた場合、その原因は何だと思われますか。（500字以内） | もとより、応募団体の規模は大きな団体から小さな団体まで予想された。また、関東圏からの応募が多いが、それ以外からも応募があることも想定していた。事業内容も、子ども対象のものから、DV被害者支援のネットワーク団体、環境関連など幅広く、これも当初から想定していた。分野等を特に限定しなかったこと、できるだけ広範な活動を対象としたことで多様な団体の公募がなされたのではないかと思われる。 | |

**Ⅴ. 選定結果の通知及び公開の状況**

| 分類 | 項目 | 記入欄 | |
|---|---|---|---|
| 実行団体の選定しなかった理由の通知 | 実行団体に選定しなかった各選定申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示しましたか。（選択式） | はい | |
| 選定結果の情報公開 | 情報公開をホームページ等で行いましたか。（選択式） | はい | |
| | 「はい」の場合：　ページURL | http://machi-pot.org/pecs/ | |
| | 「いいえ」の場合：　公開予定日（YYYY/MM/DD） | | |